



しあわせ信州

長野県（上伊那地域振興局）プレスリリース 令和6年（2024年）4月5日

「山室の棚田」の保全活動の促進に向けて、 『棚田パートナーシップ協定』を締結します

「つなぐ棚田遺産」に認定されている「山室の棚田」（伊那市高遠町）で栽培される酒米の生産者・醸造会社の「棚田パートナーシップ協定」締結を機に、多様な主体による保全活動を推進します。

1 日時

令和6年4月23日（火） 午前10時00分から

2 場所

伊那合同庁舎 303号会議室

3 出席者

合資会社宮島酒店	社長	宮島 敏 氏
農事組合法人山室	代表理事	大塚 治男 氏
長野県上伊那地域振興局	局長	布山 澄

4 締結式

概要説明、協定書調印、出席者挨拶



山室の棚田の酒米で醸造された純米酒
（左から「超玄」、「一瓢」、「和三本」）

参考

○棚田パートナーシップ協定とは

令和元年度に長野県が、棚田の保全に取り組む生産者や団体と、企業・学校、都市住民等の多様な主体を結びつけることで、継続的な保全活動を支援するため、本制度を設立しました。県内では10例目、上伊那管内では2例目の締結となります。

○つなぐ棚田遺産とは

令和3年度に農林水産省が、棚田地域の活性化や棚田の持つ多面的な機能への理解促進に向けて、全国の優良な棚田を「つなぐ棚田遺産」として認定しました。全国で271地区、県内で15地区（全国3位）のうち、上伊那管内では3地区が認定されました。

また、認定を契機に、当局では棚田パンフレットやカード・バッジの制作により棚田の魅力を発信し、本取組は令和5年度農業農村整備事業広報大賞の優秀賞を受賞しました。

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0

～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

〔長野県総合5か年計画推進中〕

（問合せ先）

担 当 上伊那地域振興局 農地整備課
計画調査係 寺島、千代

電 話 0265-76-6816（直通）

F A X 0265-76-6819

E-Mail kamichi-nochi@pref.nagano.lg.jp

(別紙)

締結者	取組概要
合資会社宮島酒店	<ul style="list-style-type: none">○ 創業明治44年(1911年)で、銘酒「信濃錦」の蔵元。○ 地元伊那谷において、全ての酒造米を無農薬もしくは減農薬の栽培契約とし、中央アルプスを源流とする伏流水から、味わい豊かな純米酒のみを醸造しています。○ 農事組合法人山室とは、平成17年から栽培契約を始め、酒造好適米「美山錦」などを使用した良質な純米酒を醸造しています。
農事組合法人山室	<ul style="list-style-type: none">○ 山室の棚田をはじめ、高遠町山室地区において、酒米の栽培を主体としつつ、そばやブロッコリー、ズッキーニ等の農産物を生産する農事組合法人です。○ 地域の農地を集落全体で管理し、継承していくために平成17年に地元農家が立ち上げた営農組織です。○ 耕作放棄地を解消するため、ほ場整備事業を実施するほか、農地貸借や市民農園の開設、棚田オーナー制度の導入など、地域資源を最大限に活用することで地域の活性化に貢献しています。